

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公開番号】特開2001-255153(P2001-255153A)

【公開日】平成13年9月21日(2001.9.21)

【出願番号】特願2001-42440(P2001-42440)

【国際特許分類】

G 01 C 19/56 (2006.01)

G 01 P 9/04 (2006.01)

【F I】

G 01 C 19/56

G 01 P 9/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1軸を中心に動作する第1ディスクと、
 第1軸を中心に動作する第2ディスクと、
 基板に接続された固定支持クランプとから構成され、
 前記第1ディスクおよび前記第2ディスクが前記第1軸を中心とする動作状態に設定されたとき、前記第1ディスクの動作は、前記第2ディスクの動作と位相がずれ、
 前記第1ディスクおよび前記第2ディスクが前記基板から分離されることを特徴とする
 ジャイロスコープ・システム。

【請求項2】 前記第1軸に垂直な他の軸を中心とするディスクの動作を感知するセンサをさらに備えることを特徴とする請求項1に記載のジャイロスコープ・システム。

【請求項3】 前記センサは、前記他の軸を中心とするディスクの動作によるキャパシタンスの変化を感知する電極であることを特徴とする請求項2に記載のジャイロスコープ・システム。

【請求項4】 第1ばねと、
 第2ばねと、
 第3ばねと、
 接続構造とをさらに備え、
 前記第1ばねは、前記第1ディスクを前記接続構造に接続し、
 前記第2ばねは、前記第2ディスクを前記接続構造に接続し、
 前記第3ばねは、前記接続構造を前記固定支持クランプに接続することを特徴とする請求項1に記載のジャイロスコープ・システム。

【請求項5】 前記接続構造は中心シリンドラを有することを特徴とする請求項4に記載のジャイロスコープ・システム。

【請求項6】 前記接続構造は外部チューブを有することを特徴とする請求項4に記載のジャイロスコープ・システム。

【請求項7】 前記ディスクは超小型電気機械コンポーネントとして実現され、
 前記固定支持クランプは、超小型電気機械コンポーネントとして実現され、
 前記基板は超小型電気機械コンポーネントを支持することを特徴とする請求項1に記載のジャイロスコープ・システム。

【請求項 8】 前記第1軸を中心とするディスクの動作を誘発するコード・ドライブをさらに備えることを特徴とする請求項7に記載のジャイロスコープ・システム。

【請求項 9】 前記第1軸を中心とするディスクの動作を誘発するモータをさらに備えることを特徴とする請求項7に記載のジャイロスコープ・システム。

【請求項 10】 前記第1軸を中心とする前記第1ディスクの動作は、振動動作であり、

前記第1軸を中心とする前記第2ディスクの動作は、振動動作であることを特徴とする請求項7に記載のジャイロスコープ・システム。

【請求項 11】 前記第1軸を中心とする前記第1ディスクの動作は、回転動作であり、

前記第1軸を中心とする前記第2ディスクの動作は、回転動作であることを特徴とする請求項1に記載のジャイロスコープ・システム。

【請求項 12】 前記第1ディスクは前記固定支持クランプの上に配置され、

前記第2ディスクが前記固定支持クランプの下に配置されることを特徴とする請求項1に記載のジャイロスコープ・システム。

【請求項 13】 前記第1ディスクは、第1ばね定数を有する前記第1ばねで前記接続構造に結合され、

前記接続構造が、第3ばね定数を有する前記第3ばねで前記固定支持クランプに結合されることを特徴とする請求項4に記載のジャイロスコープ・システム。

【請求項 14】 前記第1ばね定数は前記第2ばね定数とほぼ等しいことを特徴とする請求項13に記載のジャイロスコープ・ディスク。

【請求項 15】 外乱によって生じた前記他の軸を中心とするディスクの動作への影響を取り除く手段をさらに備えることを特徴とする請求項2に記載のジャイロスコープ・システム。

【請求項 16】 第1軸を中心に動作する第1ディスクと、
第1軸を中心に動作する第2ディスクと、
前記第1ディスクおよび前記第2ディスクに接続された接続構造と、
前記接続構造および基板に接続された固定支持クランプと、
前記第1ディスクを前記接続構造に接続する第1ばねと、
前記第2ディスクを前記接続構造に接続する第2ばねと、
前記接続構造を前記固定支持クランプに接続する第3ばねと、
前記ディスクの動作を感知するセンサとから構成され、
前記第1ディスクおよび前記第2ディスクは前記第1軸を中心とする動作状態に設定され、

前記第1ディスクの動作は、前記第2ディスクの動作に対して位相がずれ、
前記第1ばね、前記第2ばね、前記第3ばね、および前記接続構造は、前記第1ディスクおよび前記第2ディスクを前記基板から分離することを特徴とするジャイロスコープ・システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

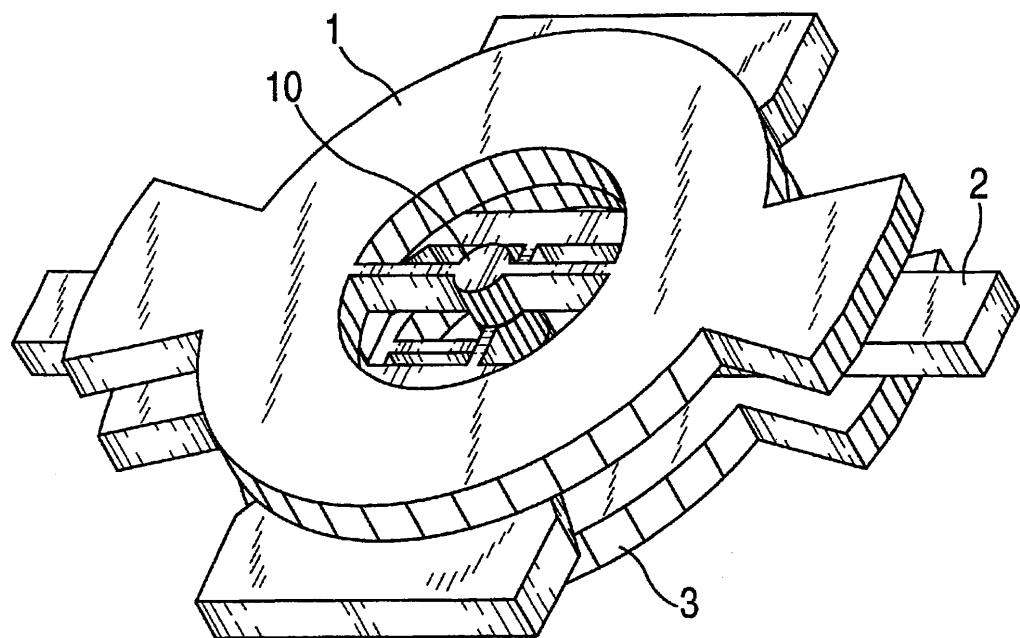
【補正対象項目名】全図

【補正方法】変更

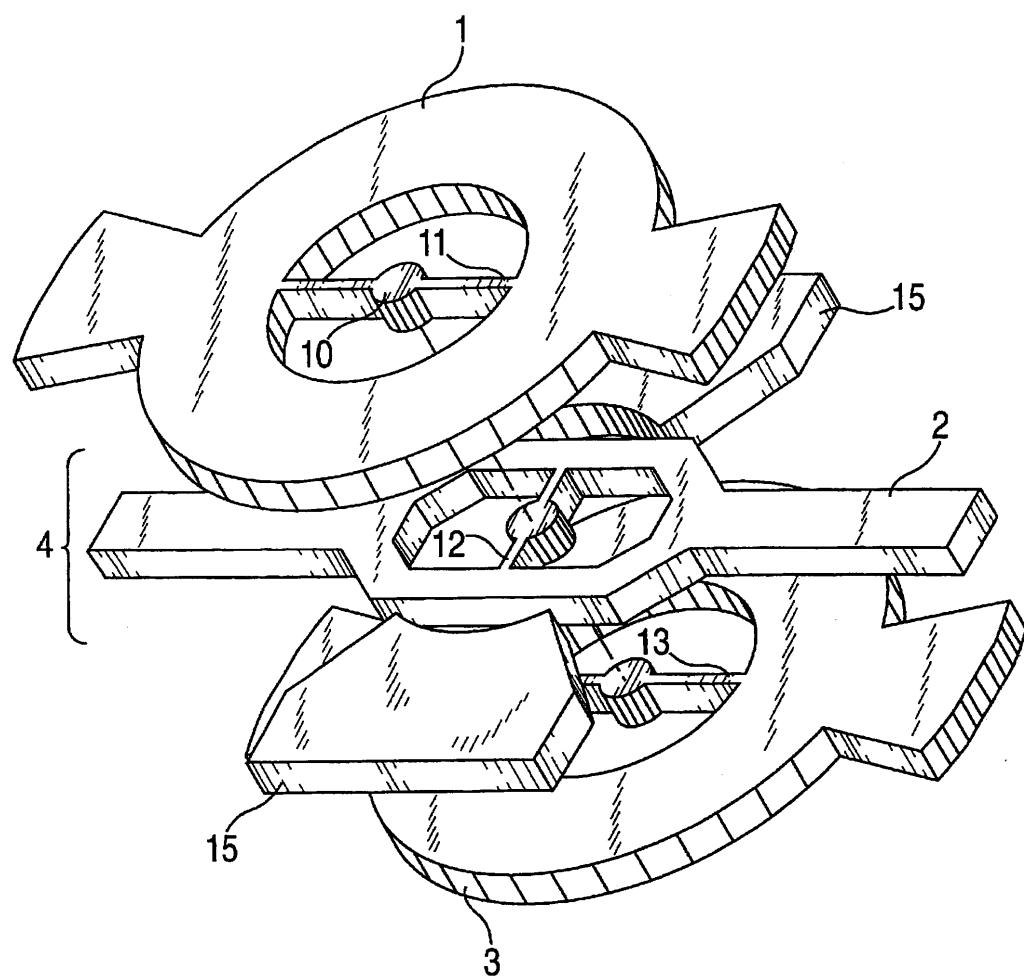
【補正の内容】

【書類名】図面

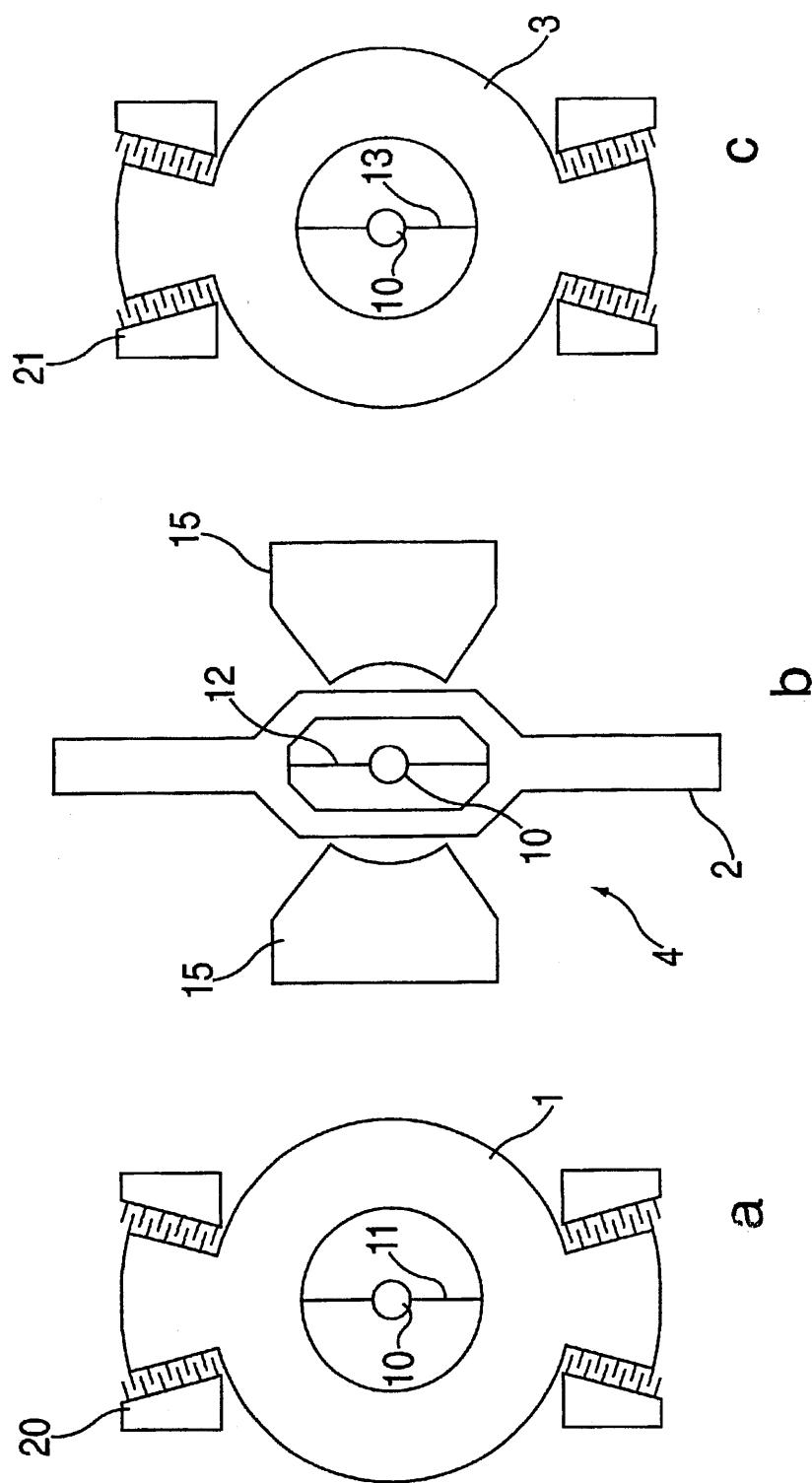
【図1】



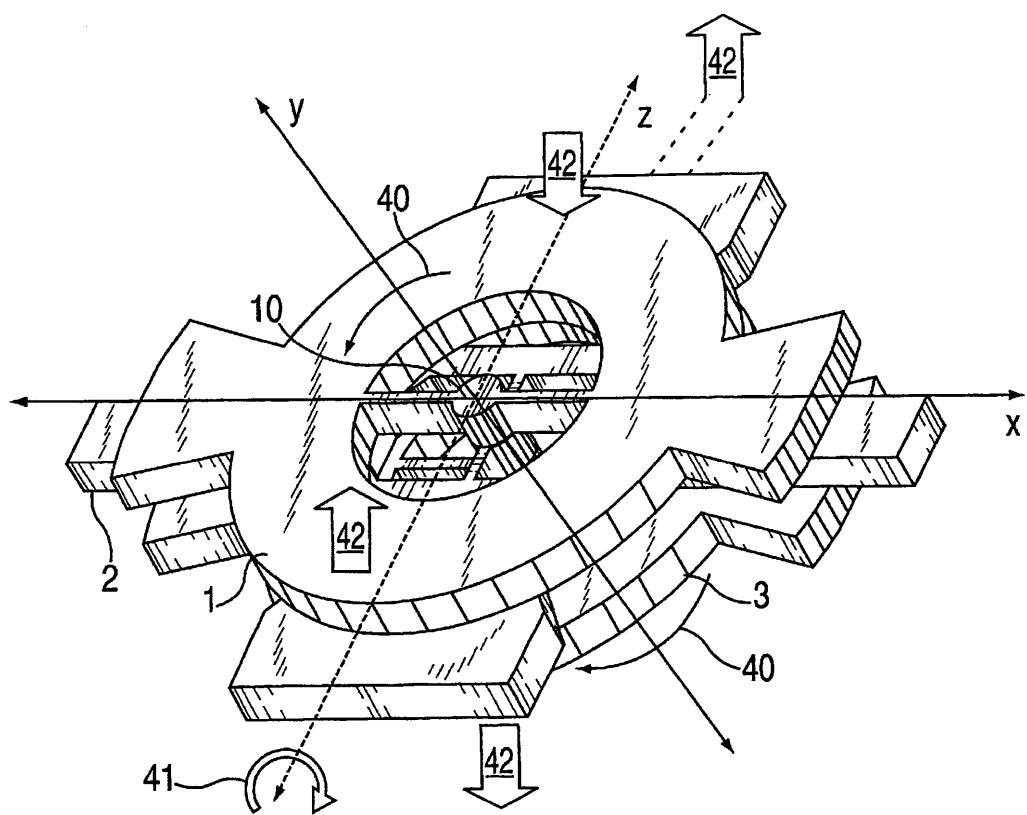
【図 2】



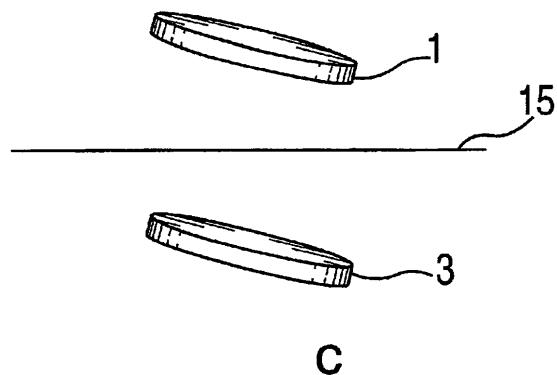
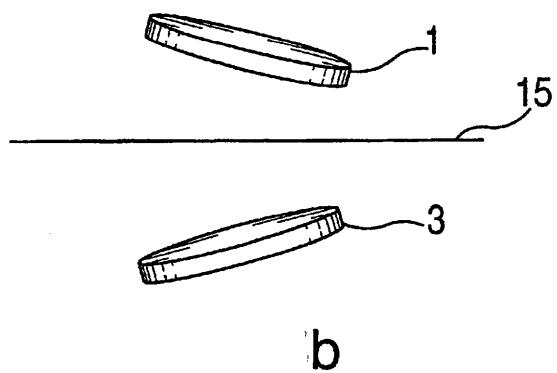
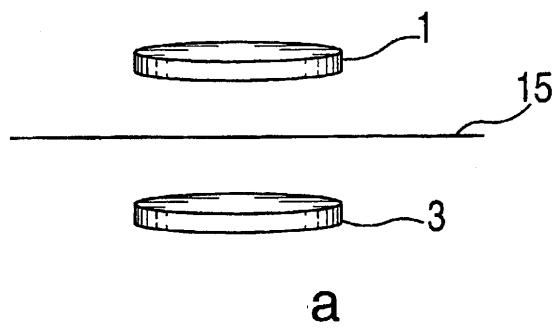
【図 3】



【図4】



【図 5】



【図 6】

